

フカセ釣りファンへ
提案 します。

高い感度のウキを使ったフカセ釣りで
 エサとコマセの完全同調を可能にした

軽快な籠仕掛け …… フカセ籠

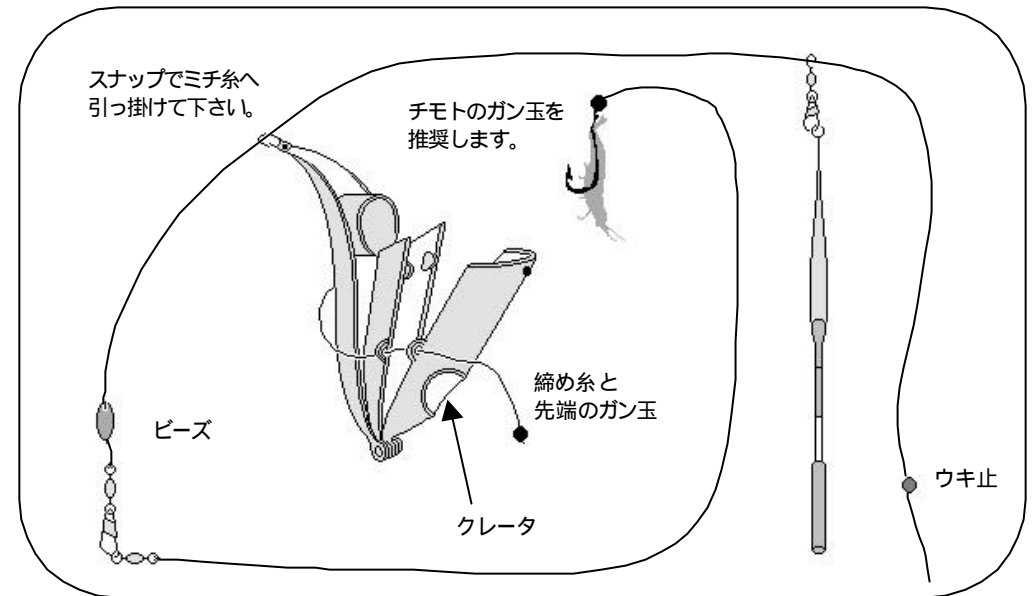
コマセの無駄使い「ゼロ」。エサ取り対策にも有効。

本パッケージの裏面に、概要を記載しています。
 詳細は、ホームページにて紹介しています。

研究・開発 **PanPoint** 製造・販売
 E-mail : panpoint@muc.biglobe.ne.jp
 URL : <http://www5d.biglobe.ne.jp/> PanPoint/

仕掛け図

ご愛用の仕掛けに、ビーズを追加して下さい。



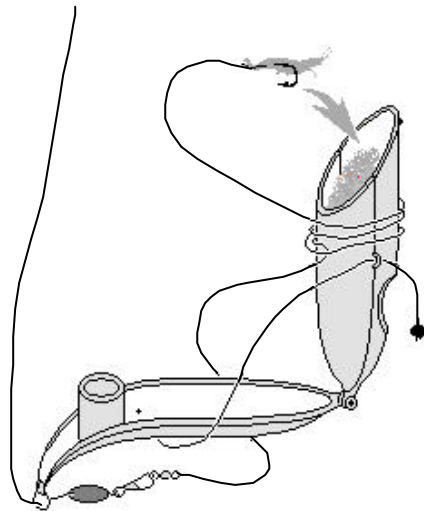
使い方

コマセを盛る。

コマセについて - - - - -

- ・ 盛った後、押し固めない、および盛り過ぎないこと。
- ・ 沈下中にウキのトップが見え隠れする程度が良い。
- ・ 比重の重い素材をクルクルに練って使う。
- ・ 比重が足らなければ、海砂を混ぜるのも一案でしょう。

ハリスを巻いて、エサを入れる。



締め糸を巻き、先端のガン玉をクレータに入れてコマセを詰める。

クレータに詰めるコマセは、籠に入れるコマセ()を小分けして、パサパサに練ったものを使う。

指の押し加減でバラケの深度が変えられます。

これで投入準備完了。
 振り出し遠投もできます。

フカセ籠を投入すると、沈下しながらクレータのコマセが崩れ、締め糸が解かれて反転。その結果、エサとコマセがバラケ出ます。…同時に巻いたハリスが伸びて同調成立。

その後のフカセ籠は、ユックリと浮上または、無重力(に近い状態)で浮遊させる事ができます。従って、ウキの感度に支障はありません。

締め糸先端のガン玉を
 1 B以下にすると浮上、
 2 B以上にすると、
 浮遊(沈下)します。
 商品は、2 Bです。

